

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大運

コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長 (氏名) 吉野 弘一

TEL 06-6532-4101

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,326	36.8	119		78		55	
21年3月期第1四半期	2,099		6		4		11	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	0.95	
21年3月期第1四半期	0.19	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,506	1,629	36.2	27.82
21年3月期	4,644	1,547	33.3	26.42

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,629百万円 21年3月期 1,547百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期					
22年3月期					
22年3月期(予想)					

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,385	18.3	13		13		13		0.22
通期	6,905	6.0	19		19		19		0.32

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	58,643,375株	21年3月期	58,643,375株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	84,297株	21年3月期	85,311株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	58,558,517株	21年3月期第1四半期	58,561,648株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記で記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当社の当第1四半期の営業収入は前同期比 772,689千円(36.8%)の1,326,628千円となりました。

昨秋の金融危機以降、荷動きは大幅に低下し、営業収入は著しく減少いたしました。当第1四半期におきましても、引き続きその影響を受けております。

対策として、採算性の低い賃借施設の返還、人件費の削減等による収益改善を推進しております。

営業外収益53,877千円のうち受取補償金38,628千円、特別利益27,722千円の中の賞与引当金戻入益19,138千円もその改善策に起因するものであります。

この結果、当第1四半期の営業損失は119,511千円、経常損失は78,041千円、四半期純損失は55,442千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前期末比8.1%減少し、1,960,107千円となりました。これは現金及び預金の減少68,027千円、立替金の減少71,759千円、営業未収入金の減少72,418千円等によるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前期末比1.4%増加し、2,546,034千円となりました。これは株価上昇等に起因する投資有価証券の増加97,090千円等によるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前期末比8.0%減少し、2,034,744千円となりました。これは短期借入金の減少91,000千円、1年以内返済予定の長期借入金の減少45,150千円、賞与引当金の減少44,938千円等によるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前期末比4.8%減少し、842,109千円となりました。これは長期借入金の減少10,760千円等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前期末比5.0%減少し、1,629,286千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の増加137,462千円、繰越利益剰余金の減少55,443千円等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、不確定要因が多く、平成21年5月22日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

法人税等の算定方法

税金費用については、税引前四半期純損失であるため、年間の均等割を期間按分して計算しております。なお、法人税等調整額は法人税に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前事業年度まで2期連続して営業損失を計上しており、当第1四半期においても、119,511千円の営業損失を計上いたしました。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該重要事象等についての分析・検討事象及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

設備等の見直しによる固定費の削減及び人件費の削減

平成19年4月の吸収合併及び売上増加の見込みに基づき肥大化した設備等の見直しを行い、賃借施設の返還により固定費の大幅な削減を図ってまいります。また役員報酬のカット等による人件費の削減を実施してまいります。

営業強化を目的とした人的資源の集中

営業強化に人的資源の集中を図り、新規拡大に特化した部署を新設し、積極的な営業展開を図ってまいります。

港湾貨物の領域を越えて物流サービスの提供

従来の港湾作業だけでなく、流通加工、保管、配送など幅広く港湾貨物の領域を越えた物流サービスの提供を目指してまいります。

主要港湾業者との提携強化による競争力向上

新しい物流の商品化を図るため、主要港湾業者との提携を強化し、国際複合一環輸送での競争力を高めてまいります。

5.【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	807,272	875,299
受取手形	4,156	7,140
営業未収入金	728,535	800,953
立替金	271,593	343,353
その他	150,491	107,400
貸倒引当金	1,941	2,141
流動資産合計	1,960,107	2,132,005
固定資産		
有形固定資産		
建物	277,327	284,547
構築物	3,713	3,806
機械及び装置	58,453	62,383
車両運搬具	152,735	168,821
工具、器具及び備品	19,181	20,837
土地	576,183	576,183
リース資産	8,291	9,699
有形固定資産合計	1,095,886	1,126,279
無形固定資産		
のれん	495,775	502,758
その他	41,367	44,767
無形固定資産合計	537,143	547,526
投資その他の資産		
投資有価証券	769,212	672,122
差入保証金	96,522	115,425
破産更生債権等	357,376	357,678
貸倒引当金	310,107	306,976
投資その他の資産合計	913,004	838,250
固定資産合計	2,546,034	2,512,056
資産合計	4,506,141	4,644,061

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	79,072	96,299
営業未払金	422,688	463,414
短期借入金	636,000	727,000
1年内償還予定の社債	-	10,000
1年内返済予定の長期借入金	578,450	623,600
未払金	114,255	70,118
未払法人税等	34,033	32,611
その他	170,245	189,265
流動負債合計	2,034,744	2,212,310
固定負債		
長期借入金	589,720	600,480
退職給付引当金	138,724	139,936
その他	113,665	144,104
固定負債合計	842,109	884,521
負債合計	2,876,854	3,096,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,321,658	2,321,658
資本剰余金		
資本準備金	241,563	241,563
その他資本剰余金	433,864	434,013
資本剰余金合計	675,428	675,577
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,339,916	1,284,473
利益剰余金合計	1,344,772	1,290,329
自己株式	10,234	10,422
株主資本合計	1,652,791	1,708,196
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,504	160,966
評価・換算差額等合計	23,504	160,966
純資産合計	1,629,286	1,547,229
負債純資産合計	4,506,141	4,644,061

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業収入	2,099,318	1,326,628
営業原価	1,973,862	1,337,825
売上総利益	125,456	11,196
販売費及び一般管理費	131,897	108,315
営業利益	6,441	119,511
営業外収益		
受取利息	407	202
受取配当金	12,419	8,787
受取補償金	-	38,628
その他	8,784	6,259
営業外収益合計	21,611	53,877
営業外費用		
支払利息	10,555	11,137
その他	57	1,270
営業外費用合計	10,612	12,407
経常利益	4,557	78,041
特別利益		
固定資産売却益	529	468
投資有価証券売却益	-	8,115
その他	-	19,138
特別利益合計	529	27,722
特別損失		
投資有価証券評価損	6,793	-
貸倒引当金繰入額	7,324	3,131
その他	-	571
特別損失合計	14,118	3,702
税引前四半期純利益	9,032	54,021
法人税、住民税及び事業税	2,359	1,421
法人税等合計	2,359	1,421
四半期純利益	11,391	55,442

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。